

平成 30 年 9 月 28 日
自動車局旅客課

相乗りタクシー実証実験の結果

～ マッチング成立率約 1 割。再利用意向は約 7 割も、同乗者への不安感の解消が課題 ～

実証実験実施期間中の相乗りタクシーの申込み人数は 5,036 人、そのうち利用人数は 494 人、マッチングの成立率は約 1 割という結果となりました。

また、利用者アンケートによると、本格導入後の利用意向については約 7 割の利用者が「また利用したい」と回答されました。

一方、今回の実証実験にあわせて実施した国土交通省インターネットモニターアンケートにおいて、相乗りタクシーを利用する際に最も気になることを尋ねたところ、約 5 割のモニターが「同乗者とのトラブルに巻き込まれるのではないかと」と回答され、相乗りタクシーを「利用したくない」と回答された方にその理由を尋ねたところ、「相乗りする人がどういう人になるかわからないから」という理由が、男性で約 6 割、女性で約 7 割と最も多いという結果になりました。

これらの結果から、実際に利用された方には、複数人で相乗りして割安にタクシーを利用するという相乗りタクシーのコンセプトは受け入れられたと考えられる一方で、利用したくても約 9 割の方は、マッチングが成立せず利用できなかつたことから、申込み人数の増加やマッチング効率を上げる工夫が必要であること、また、同乗者への不安感が強いことから、これを解消する必要があることなど、制度化に向けて取り組むべき課題が明らかとなりました。

□ 相乗りタクシーのねらい

- ▶ 配車アプリを活用して、目的地が近い利用者同士をマッチングさせてタクシーを配車させ、1 台のタクシーに複数の利用者が相乗りすることで、割安にタクシーを利用できるサービスを提供し、利用者利便の向上を図る。
- ▶ 1 台のタクシーで複数の利用者を運送することで、運送の効率化による生産性の向上を目指す

□ 実証実験の概要

- ▶ 期 間：平成 30 年 1 月 22 日（月）～平成 30 年 3 月 11 日（日）
- ▶ 地 域：東京 23 区、武蔵野市、三鷹市
- ▶ 車 両 数：949 両（大和自動車交通グループ、日本交通グループ）
- ▶ 調査概要：利用実績調査・利用者アンケート、国土交通省インターネットモニターアンケートを実施し、相乗りタクシーの申込み状況及び利用状況等や利用者意向を把握。今後の制度検討に活用。

□ 実証実験の結果 別紙のとおり

□ 今後の予定

今年度中にさらに詳細な分析を行い、それを踏まえて本格導入を目指した制度設計を行ってまいります。

【問い合わせ先】

自動車局旅客課 齋藤・鈴木
代表：03-5253-8111（内線 41242、41243）
直通：03-5253-8569
FAX：03-5253-1636